

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒721-0931
 住 所 広島県福山市鋼管町1番地
 氏 名 株式会社JFEサンソセンター
 代表取締役社長 上原 正弘
 (代理人) 取締役工場長 梶山 直彰
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	(株)JFEサンソセンター		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区扇島1番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	酸素ガス・窒素ガス・アルゴンガス・液化酸素・液化窒素・液化アルゴン製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	※ ※ ※ ※ k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数	台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂	

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

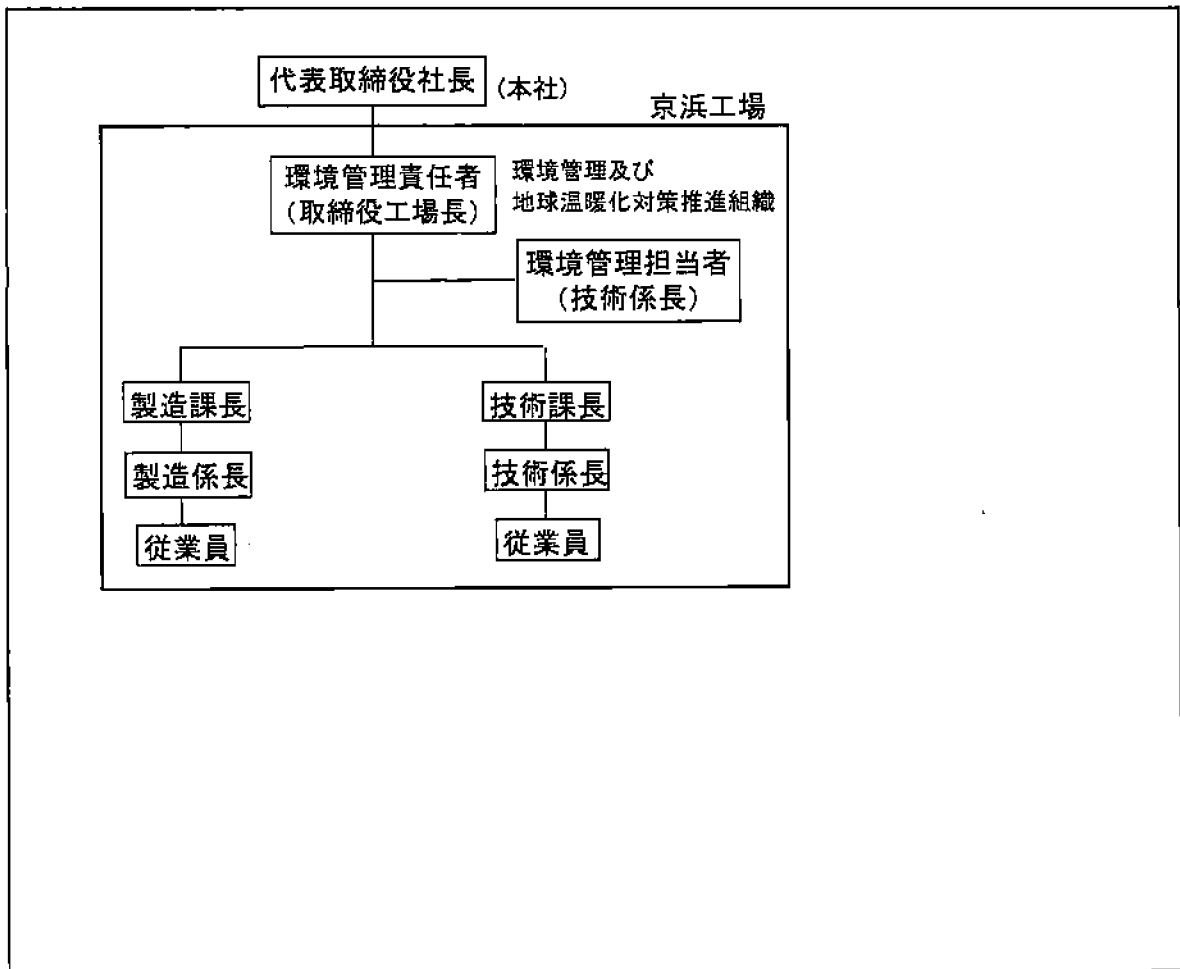
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- ①環境への負荷を把握し、地球温暖化対策に関する取り組みを継続的に推進、定期見直しを実施する。
- ②生産設備の合理化、新設備・技術の導入による消費電力の削減により、省エネを意識した地球環境の保全に努める。
- ③環境マネジメントシステムに準拠した社内方針及び目標を定めるとともに、全社員を対象とした環境教育により個々の環境意識レベルの向上を図る。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ①排出量削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行ない、年度計画を策定する。
- ②年度計画に基づき、半期に1回の進捗管理、月々のエネルギー使用量及び排出量の実績管理を行い、操業・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。
- ③操業・設備改善の実施時には、削減効果の検証を行い、その評価を実施する。その評価結果より、実施項目の更なる改善へ繋げていく。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	223,579	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
		(調)	220,263		(調)	
目標	排出量	(実)	223,033	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
		(調)	219,717		(調)	
削減量		(実)	546	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実)	546	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削減率		(実)	0.2	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		生産数量			
原単位の単位		t-CO ₂ /百万Nm ³			
基準年度の値		148.4			
目標年度の値		148.1			
削減率		0.2		%	

ウ 目標設定に関する説明

①定期的に各コンプレッサーを点検・清掃実施することで、設備のエネルギー消費効率を改善させ、温室効果ガス排出量の削減を図る。
 ②照明設備は高効率照明を積極的に採用する。前年度までに完了した箇所以外の照明設備をLED照明へ取り替え、工場照明に関しても順次実施していく。
 ③空調設備の改善整備を率先して実行する。
 ④新規技術の導入により設備動力を削減することで、エネルギー効率向上を図る。

以上の目標年度内の実施により3年間で0.2%以上の削減を目標とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	<p>○高効率照明設備の導入推進 LED照明の導入未実施箇所について更新を行う。</p> <p>○定期的な点検によるポンプ、コンプレッサーのエネルギー効率の改善 各設備において定期点検・清掃を行い、エネルギー効率の改善を図る。 老朽化した軸流圧縮機の翼更新による動力低減を図る。</p> <p>○新規技術の導入による設備動力の削減 最新鋭の窒素圧縮機を新設し、既設圧縮機と切り替えることで、動力削減を図る。</p> <p>○空気調和一括方式から分散方式への更新と管理 大型エアコンによるダクト送風方式から、各部屋ごとに空調設備を設置することでの分散方式とする。夏場冷房は28度、冬場20度の温度設定を徹底する。</p>
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・大型圧縮機の定期点検による運転効率の回復。⇒今後も継続的に実施。 ・4号空気圧縮機のクーラー材質変更による動力低減。 ・省エネコーティング施工による送水ポンプの動力低減。 ・空気圧縮機吸入部への水ミスト噴霧による吸気温度低下及び動力低減。 ・事務所2階の空気調和設備の更新。 ・事務所及び機械棟の照明のLED化。⇒今後、他の場所においても計画的にLED化実施。
--

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	△
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	○	その他()	

5 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	・該当なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物全般の減量化及び分別化の推進 2. 環境保全に関する教育の実施
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	223,579	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

※※※	KL
-----	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
株式会社JFEサンソセンター	神奈川県川崎市川崎区扇島1番地	223,579 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂